

GATEM Manual

ver 1.0.0

Manufactured by centrevillage (<https://centrevillage.net>)



1. Abstract	3
2. Hardware	4
3. Basic Operation	5
4. Clocks Per Beat	6
5. Swing	7
6. Reset Timing	8
7. MIDI Sync	9
8. Cheatsheet	10
9. Firmware Update	11
10. Contact Info	12

1. 概要

GATEMIは、3つの出力チャンネル(Red/Green/Yellow)を備えた多機能トリガー/ゲートジェネレーターです。

「CH」ボタンを押すと、編集チャンネルを選択できます。

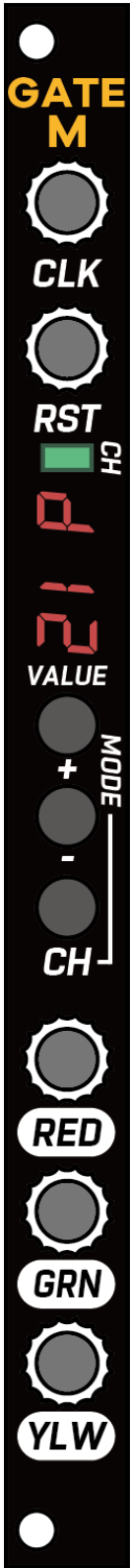
「+」または「-」ボタンは、パラメータ値を変更するために使用されます。

また、「CH」ボタンを長押ししながら「+」または「-」ボタンを押すと、編集パラメータを選択できます。

以下のパラメータが利用可能です。

- Clock Divider (d)
- Clock Multiplier (M)
- Euclidean Rythm Fill (F)
- Euclidean Rythm Rotation (r)
- Euclidean Rythm Length (L)
- Trigger Probability (P)
- Trigger Gate Length (G)
- Trigger Delay (y)
- Trigger Swing (s)

2. ハードウェア

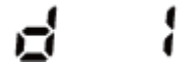


Name	Role
CLK	クロック入力
RST	リセット入力
CH	編集中のチャンネルを示すLED
VALUE	編集中のパラメータを示すディスプレイ
+	パラメータ値の増加
-	パラメータ値の減少
CH	編集チャンネル選択
(RED)	Red チャンネル出力
(GRN)	Green チャンネル出力
(YLW)	Yellow チャンネル出力

3. 基本操作

電源を入れると、Clock Dividerモードになります。

次のように表示されます。



この値は編集値中のチャンネルの値です。

上記のLEDの色 (Red/Green/Yellow) で現在のチャンネルを確認できます。

+ボタンまたは-ボタンをタップするたびに値が1ずつ増減します。

また、+ボタンまたは-ボタンを押したままにすることで、連続的に値を増減することもできます。

変更した値は5秒後に自動的に保存されます。

また、次回電源を入れると、その設定が自動的に読み込まれます。

CHボタンをタップすると、現在のチャンネルを変更できます。

CHボタンを押しながら+ボタンまたは-ボタンをタップすると、編集パラメータを変更できます。

4. パラメータ

Parameter	Display	Description
Clock Divider	 1	1から96まで設定可能。 クロックの分割数。
Clock Multiplier	 1	1から96まで設定可能。 クロックの通倍数。
Euclidean Rythm Fill	 16	0から16まで設定可能。 Euclidean Rythm Length で設定されるステップ数のうち、トリガーが出力されるステップの数。.
Euclidean Rythm Rotation	 0	0から15まで設定可能。 Fill と Length から決まるパターンを1ステップずつずらす回数。
Euclidean Rythm Length	 16	0から16まで設定可能。 シーケンスのステップ数。
Trigger Probability	 16	1から16まで設定可能。 トリガー出力の確率。 最大値の16の時は常にトリガー出力。
Trigger Gate Length	 0	0から99、もしくは_1から_9を設定可能。 値が0の場合、ゲート長は、入力されたクロックのゲート長とClock Multiplier&Dividerの設定によって自動的に計算されます。 値が1～99の場合、表示される値はミリ秒単位の固定ゲート長を示します。 値が_1～_9の場合、表示される値は100ミリ秒単位の固定ゲート長を示します。
Trigger Delay	 0	0から99、もしくは_1から_9を設定可能。 値が0の場合、トリガーは遅延しません。 値が1～99の場合、表示される値はミリ秒単位のトリガーディレイを示します。 値が_1～_9の場合、表示される値は100ミリ秒単位のトリガーディレイを示します。
Trigger Swing	 0	値の範囲は0～6で、数値が大きいほど偶数クロックのタイミングが遅延します。

5. グローバル設定

グローバル設定に入るには、**CH**ボタンを押したまま**+**ボタンと**-**ボタンを押します。

また、同じ操作(**CH** / **+/-**ボタンを押す)でパラメータ編集モードに戻ることができます。

5.1. Default BPM

グローバル設定モードに入ると、次のように表示されます。

120

これはクロック間隔が推測できない場合に使用されるデフォルトのBPMを示します。
このBPMはClock Multiplierの挙動に関係します。

Clock Multiplierは現在のBPMを受信したクロックの間隔をもとに計算していますが、最初のクロックが到着した時点ではそれが機能しません。
そのため、その場合はデフォルトのBPMが使用されます。

ここでのBPMはクロックが1拍ごとに4つ届くことを前提としています。

+または**-**ボタンを押すと、デフォルトのBPMを変更できます。
もしくは、**CH**ボタンを3回以上、拍ごとにリズムよくタップすることでもBPMを設定できます。

5.2. Auto Reset Interval

自動リセット設定に入るには、**CH**ボタンを押したまま**+**ボタンを押します。

A 2

これは、自動リセット間隔の秒数を示します。
クロック入力がこの秒間来ていない場合、シーケンスのステップが自動的にリセットされます。
値が0の場合、自動リセット動作は無効になります。

+または**-**ボタンを押すと、自動リセット秒数を変更できます。

6. ファームウェアアップデート

CHボタンを押しながらモジュールの電源を入れると、ファームウェアアップデートモードになります。

次のように表示されます。

UPd

この状態で、PCのオーディオインターフェースからのオーディオ出力をこのモジュールのCLK入力に接続し、ファームウェアのWavファイル(GATEM_firm_v_x_x.wav)を再生してアップデートを開始します。

失敗した場合は、再生音量を最大にし、アンプモジュールを使用して再生ゲインを上げる必要があります。

AMP ATTの使用がお勧めです。(<https://centrevillage.net/products/6>).

アップデートが完了したら、+ボタンを押したままモジュールの電源を入れると、現在のファームウェアバージョンが表示されます。

7. 連絡先

mail: centrevillage@gmail.com

site: <https://centrevillage.net>